

イ デ コ

「iDeCo」取組み=やらないきゃ損!=を知らせる活動

富士通労働組合沼津支部

iDeCoとは?

個人型確定拠出年金(iDeCo)とは、公的年金に上乗せする私的年金のひとつです。60歳になるまで、毎月の掛金を運用しながら積み立てていき、受け取りは「年金」または「(全部または一部)一時金」などの方法から選べます。



富士通労働組合沼津支部では、組合員の老後資産形成に有効なiDeCoの取組みを執行部一丸となって始めた、とお聞きしました。一体どんな取組みを!?・・・
ということで、杉山執行委員長をはじめ執行部の皆様に突撃取材しました!



執行委員長・杉山 徹さん



書記長・内海 和良さん



執行委員・中村 久知さん



執行委員・吉田 知史さん

Q1 なぜ「iDeCo」を組合員に勧めようと考えたのですか?

- 以前、企業型DC導入時^(*)に労金連合会の定期預金を入れることができませんでしたが、1月よりiDeCoがスタートし、どの金融機関よりも早く(ろうきん)の片平支店長が説明に来てくれました。これだと思いましたね。
- 賃上げでは厳しい環境が続く中、組合員の可処分所得を増やすことが、労組の取組みの大きな柱の1つと考えています。その意味で、節税メリットを最大限活用できるiDeCoはそれに合致します。とにかく少しでも早く組合員に周知することが大事だと考えました。

(*)導入時に一定年齢以上の組合員は企業型DCの加入非対象としている。



Q2 加入対象者は何名くらいですか?

- 企業型DCの加入対象者ではない約600名が対象です。少なくとも「iDeCoを活用できる」ことを「知らなかった」と言われないよう周知活動を展開します。

Q3 富士通労組全体での取組みですか?

- 労組中央から支部の取組みにするよう指示があり、1月以降多くの組合員から相談や問合せを受けています。支部として、他支部の先陣を切って取組むことを決めました。



Q4 具体的な取組み方法について教えてください。

- (ろうきん)沼津支店と連携し、事前に執行委員、書記を対象に勉強会を開催、一般組合員には4月26日に第1回「iDeCoセミナー」を開催しました。チラシ配布のほか、職場の電光掲示板へ掲載すると共に、私たちが職場に向く際には、必ずチラシを手にして個別に声を掛けました。繰り返しの周知活動が重要だと考えています。



Q5 セミナー等への参加の動機付けで工夫していることは?

- 将来不安を煽るわけではありませんが、例えば、賃金上昇を上回る物価上昇があり得る等、公的年金の目減り等も心配されており、現在の年金受給されている方と同じ水準の生活が出来なくなることを分かりやすく伝えるようにしています。



Q6 これから更にどういった取組みをされる予定ですか?

- セミナーは継続的な実施を考えていますが、相談機会を広げるためにも、水曜よりみち相談会への誘導や個別相談会の開催、昼ピラの実施などを(ろうきん)と連携し取組んでいきたいと考えています。iDeCoの加入を通じ、組合員が将来への資産形成を早く始められるよう、600名全員に声掛けします!

